

編集後記

2023 年度会誌編集委員長を務めます、伊藤誠と申します。1 年間どうぞよろしくお願いいたします。異例ではありますが、昨年度に引き続き、本会会誌編集委員長を拝命いたしました。

本号では、論説 1 編、解説 2 編、横幹協議会のインキュベーション会員である（株）環境テクノ様のご紹介、会員学会である品質工学会様、日本リモートセンシング学会様による会員学会紹介、という形で編成することができました。ご寄稿いただきました著者の皆様、原稿の校閲に携わってくださった皆様に厚く御礼申し上げます。

他方、今回は原著論文の刊行を行うことができませんでした。原著論文の投稿は継続的にあるところ、刊行に至らなかったのは残念です。それだけ、厳格な審査が行われているということの証左でもあります。多様な学会を会員に持つ本会における学術論文の査読のむずかしさを痛感しているところでもあります。横幹知、横幹技術とは何か、それぞれの専門分野で切磋琢磨されている先生方の、それぞれの専門分野で論文を発表するための研究

の方法論と、横幹誌で横幹知、横幹技術を取り扱う学術研究の方法論とは何がどこまで同じで何が異なりうるのか、異なるものでなければならぬのか、なかなか答えが容易に見つかるものではないようです。投稿者、査読者が意見をぶつけ合って、「これならば」と思われるものに研究が育っていく、そういう「戦いの場」として、本誌が役に立てば幸いです。単なる「いろいろある投稿の機会の一つ」ではなく、「この研究・論文は横幹誌でなければ載せる意味がない」という「目標」となることができるよう、努めてまいります。

昨今の国際的な厳しい研究競争の中では、論文誌・雑誌社間の競争も激化しつつある中、インパクトファクターなどの主要なメトリックのつかない学術誌は学術誌にあらずという風潮もあります。他方、こうした状況から、出版社に振り回されるのは本末転倒ではないかという議論も出始めつつあります。目先の評価にとらわれすぎず、横幹知、横幹技術の確たる情報発信源として基盤を強化していきたいと存じます。

2023 年度会誌編集委員長 伊藤 誠

【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

□ 2023 年度役員

会 長 安岡 善文（東京大学名誉教授）

副会長 椿 広計（統計数理研究所）

理 事 伊東 明彦（ソクリエ）

佐藤 一弘（東洋製罐グループ HD）

林 聖子（亜細亜大学）

皆川健多郎（大阪工業大学）

青山 和浩（東京大学）

伊藤 誠（筑波大学）

大江 秋津（東京理科大学）

鷹羽 浄嗣（立命館大学）

早川 有（早稲田大学）

水田 正弘（統計数理研究所）

監 事 本多 敏（慶應義塾大学）

藤田 政之（東京大学）

川中 孝章（東京大学）

長沢 伸也（早稲田大学）

藤井 享（北見工業大学）

吉見 卓（芝浦工業大学）

伊藤 敦（京都府立大学）

猪原 健弘（東京工業大学）

下野 僚子（早稲田大学）

田中 敏幸（慶應義塾大学）

林 勲（関西大学）

山上 伸（日本 OR 学会）

川崎 茂（滋賀大学）

□ 2023 年度会誌編集委員会

委員長 伊藤 誠（筑波大学）

副委員長 水田 正弘（統計数理研究所）

委 員 椿 広計（統計数理研究所）

林 聖子（亜細亜大学）

穴太 克則（芝浦工業大学）

大塚 敏之（京都大学）

金子 勝一（山梨学院大学）

玉置 久（神戸大学）

出口光一郎（東北大学）

三宅 美博（東京工業大学）

倉橋 節也（筑波大学）

鷹羽 浄嗣（立命館大学）

青柳 秀紀（筑波大学）

岩澤誠一郎（名古屋商科大学）

小平和一郎（アーネスト育成財団）

櫻井成一郎（明治学院大学）

椿 美智子（東京理科大学）

水野 毅（埼玉大学）

横山 清子（名古屋市立大学）

■横幹技術協議会の主な活動実績 『横幹技術フォーラム』

横幹連合との共催で定期的に行っている「横幹技術フォーラム」では、複合的視点を必要とする企業課題への技術情報を提供しております。

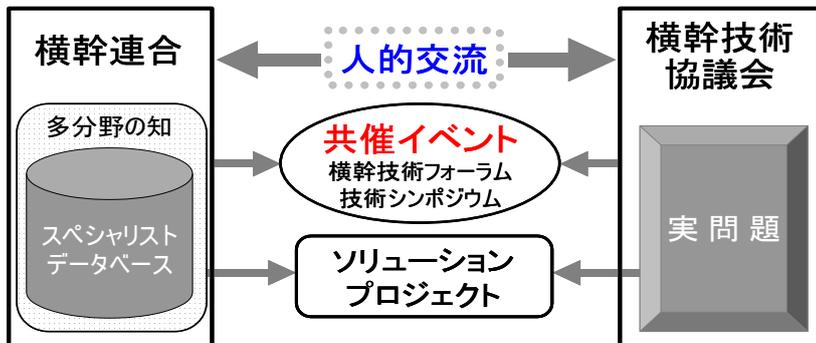
＜過去のフォーラム実績＞

- 第38回 サービス学の成立 ～サービス科学・サービス工学の発展を受けて～
- 第39回 社会システム論で社会を読み解く
- 第40回 社会デザインのためのエージェントベースシミュレーション
- 第41回 社会的課題解決のためのイノベーション～社会システムとしての街づくり～
- 第42回 数学と産業の協働、データサイエンティストの育成
～イノベーションの創出と促進に向けた先進的取組み～
- 第43回 経営高度化としての統合リスクマネジメント経営の考察
- 第44回 ロボット活用社会の新潮流
- 第45回 システムデザイン力を展望する
- 第46回 第6次産業への取り組み～複数システムの連携による価値構築～
- 第47回 4次産業革命に向けたサービス科学の役割とビジネス応用に向けた課題
- 第48回 人工知能によるシステム構想力・統合力の強化
～ものづくりプラス企業の実現に向かって～
- 第49回 ビジネスイノベーションが先導する第4次産業革命（IoT/インダストリアル4.0）の実現に向けた産・学・官の役割と課題とは
- 第50回 未来洞察（Foresight）活動の取り組みの現状とその活用
～科学技術融合時代の先取りを目指して～
- 第51回 ヘルスケア・サイエンスの取り組みと現状
～医療に頼らない健康管理のためのヘルスケア～
- 第52回 IoT・ビッグデータ・AI時代の企業間連携とプラットフォーム
～センシングデータ利活用の可能性と課題～
- 第53回 Society 5.0時代のヘルスケア（その1）
- 第54回 Society 5.0時代のヘルスケア（その2）
- 第55回 Society 5.0が実現するデータ駆動型まちづくり～展望と課題～
- 第56回 オープンイノベーション活動『豊洲の港から』
- 第57回 先端医療（医用生体工学・行動神経経済学・医療経営学）研究の現状とその活用による北海道の地域・医療イノベーション
- 第58回 地域医療の情報化における諸問題とその克服に向けた課題
- 第59回 スタートアップの潮流と今後の可能性
- 第60回 横幹技術シーズの社会実装化に向けた産学連携活動の新たな展開
＝ビジネスの視点から捉えた産学連携マッチングの現状と課題＝

※過去のフォーラムプログラムはHP (<https://www.trasti.jp/about.html#forum>) でご覧いただけます

■企業の課題解決支援（プロジェクト活動）

企業が抱える実問題に対し、他分野の専門家が共同してプロジェクトを組みソリューションを追求するもので、さまざまな要素が絡み合う複雑な課題へアプローチする、新たな産学連携の仕組みとして注目されています。横幹技術協議会では、中核会員企業に初期のフィジビリティスタディ段階のサービスを提供しています。



統合知による産業力強化を推進



横断型基幹科学技術推進協議会

会長 桑原 洋

(株)日立製作所名誉顧問
元 内閣府総合科学技術協議会議員

横断型基幹科学技術推進協議会（略称：横幹技術協議会）は、企業を会員として横幹科学技術の推進活動を行っています。

「学」を中心とする横幹連合と、「産」を主体とする横幹技術協議会は互いに緊密に連携しながら、横幹科学技術を推進し、産業活動に生かすためのさまざまな活動を行っています。横幹連合と横幹技術協議会は、車の両輪として、横幹科学技術の学としての深化と社会への活用に取り組んでいます。

（設立：2004年5月）

■参加会員（2023年10月現在）

【中核会員】

(株)日立製作所

【インキュベーション会員】

(株)日立ソリューションズ東日本
一般社団法人日本医療デザインセンター

(株)環境テクノ

横断型基幹科学技術推進協議会

Transdisciplinary Science and Technology Initiative

TEL&FAX: 03-6675-4076 URL: <https://www.trasti.jp/>